

7部

卒業と
資格・免許状
取得のために

1 // 2016年度(2017年) 3月卒業希望の方へ

●履修状況票の発送について

- ・12月までの卒業試験受験者→11/27発送済み
- ・1月の卒業試験受験者→1月初旬までに発送予定
(未着の場合、卒業係までご連絡ください。)

※現在の修得単位をご確認ください。なお、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得希望者は、指定科目に見落としがないか改めてご確認ください。

●卒業までのスケジュール・諸注意について

『With』119号 p. 46～48および『試験・スクーリング情報ブック2016』p. 36を必ずご確認ください。

皆様が卒業まで漕ぎ着けられますことを願っております。

2 // 社会福祉士 取得希望の方へ

社会福祉士関連の演習・実習のメールによるお問合せは、uj@tfu-mail.tfu.ac.jp までお願いいたします。

1 発送物のご案内

発送物	対象者	発送(予定)日
「実習」「実習指導A」受講許可通知or不許可通知or保留通知	実習申込者	11/4

「★■演習B」「◆演習II」スクーリング結果通知	10・11月受講者	11/28
「★■演習A」「◆演習I」スクーリング受講許可・不許可通知	1月仙台会場申込者	12/7
「★■演習C」スクーリング受講許可・不許可通知	2月仙台会場受講者	12/26
「実習」「★■実習指導B-3+演習C-2（◆実習事後指導）」スクーリング結果通知・(および『実習記録』等)	10・11月受講者	12/26
	12月受講者	1/13

2 次年度実習の申込みについて

来年（2017年）6/19～10/13の期間に実施の実習申込みは9/15で終了しております。

申込みされた方の今後の受理判定日および「実習申込受理通知」の発送予定日は下表のとおりで、受理された方には下記①～③を送付します。

判定日	実習申込受理通知 発送予定日
11/30	12/14
12/20	1/12
1/31	2/15

- ①『社会福祉援助技術実習 課題ノート』
- ②『社会福祉援助技術実習の手引き 第2分冊』
- ③「実習指導A」スクーリング受講許可証ハガキ

※実習先からの「内諾回答書」（コピー）は、実習の申込みが受理された方で、実習先から通信教育部に返送があった場合にお送りします。上記①②に同封する場合がありますが、多くは別便での送付となります。

3 「★■社会福祉援助技術実習指導A」 スクーリングについて

スクーリング申込みは実習申込みと併せて9/15で締め切りました。

スクーリング受講料（5,000円）は、「★■社会福祉援助技術実習指導B」（旧カリ「◆事前指導①②・事後指導」）スクーリング受講料（15,000円）とあわせて来年4月に請求（計20,000円）いたします。

※【旧カリキュラム受講の方へ】実習指導内容の変更について

平成26年度以降の実習から、旧カリキュラム受講の方も新カリキュラム受講者と同様の事前事後指導が求められ、スクーリング受講回数・受講料とも増えております。また、実習中の指導についても巡回指導1回に加えて帰校指導3回が必要となります。

4 「★■社会福祉援助技術演習C」について （対象：実習免除者、再来年度以降科目等履修生での実習希望者）

『With』117号でご案内のとおり、スクーリング日程が変更になっております（変更前：1/28・29 → 変更後：2/4・5）。

ただしスクーリング申込締切日は変更なく12/20になります。受講希望の方は、『With』117号巻末の申込用紙をご提出ください。

3 国家試験を受験する方へ【重要】 （社会福祉士・精神保健福祉士共通）

社会福祉士・精神保健福祉士指定科目の履修状況は各自で管理する必要があります。履修状況票のweb閲覧または取り寄せにてご確認ください。

スクーリング受講や科目修了試験受験、レポート提出などに漏れないか、特に再提出になったレポート、不合格になったスクーリングや科目修了試験についてはその後どうしたか、などにはご留意ください。

ご自身で確認のうえで、ご不明な点は実習係にお問い合わせください。

4 精神保健福祉士 取得希望の方へ

◆★=平成14～23年度入学者対応の科目

■=平成24～28年度入学者対応の科目

精神保健福祉士関連の問合せ先（Eメール） psw@tfu-mail.tfu.ac.jp



発送物のご案内

科目名・発送物	対象者	発送(予定)日
「◆★精保実習」 受講申込受理判定結果通知	「◆★精保実習」申込者（9 / 15締切済）で、第2回判定（11 / 30）合格者	12 / 3 ころ
「■精保演習A」スクーリング 受講許可通知	12・1月受講予定者	12 / 3 ころ
「■精保演習B（実習免除者用）」 スクーリング受講許可通知+ 『精保実習A課題ノート』	2 / 4・5 受講予定者	12 / 5 ころ
「■精保演習C - 2 + 実習指導B - 2」スクーリング成績通知	11 / 26・27受講者	12 / 26 ころ

【平成23年度以前入学者(旧カリキュラム)の方へ】



1 今年度に「◆★精保演習」スクーリングを受講した方へ

次年度に「◆★精保実習」を受講希望の方は、「体験学習」を原則1 / 20までに終えて『体験学習記録』を提出してください。次年度に実習受講

を希望しない方も、賠償責任（学生保険）の保障期間の都合上、遅くとも今年度の3月末までに「体験学習」を終えるようにしてください。

「体験学習」は、本実習の事前実習としての目的のほか、実習生の立場や実習受入先が実習生を受入れることの意味を理解することをねらいとしています。そのため学習依頼先の選定から、内諾依頼調整、内諾報告、体験活動、記録作成、体験学習先への礼状送付までを一連のプログラムとして学生自身が行うことに意義があります。極力自身の力で調整・実施するようご努力ください。

2 次年度（2017年度）「◆★精保実習」の 申込受理判定について

次年度「◆★精保実習」の第2回申込受理判定（11/30）の結果通知を12月初旬に対象者へ発送いたします。残りの判定は12/20、1月末（最終）の2回となります。未だ達成されていない方は、実習申込受理条件のクリアに向けご努力ください（『レポート課題集2016A』 p. 260参照）。

入学年度により『学習の手引き』2002-2008◆版 p. 83～、2009-2011★版 p. 98～の「V 精神保健福祉士国家試験受験資格」もご確認ください。

【平成24年度以降入学者（新カリキュラム）の方へ】 《実習受講者・実習免除者共通》

1 「■精保演習A」スクーリング （今年度12月・1月開講）を受講希望の方へ

今年度12/10・11またはH29. 1/21・22に「■精保演習A」スクーリングを受講予定の方に対し、受講クラスの結果通知を12月初旬に対象者へ発送いたします。

スクーリングの初日または2日目の講義後のいずれかに、実習受講希望

者を対象とした「精保実習A選考試験（面接）」を実施します。ご自身の面接時間を確認し、帰りの交通チケットの手配等の時間調整にご注意ください。

《実習受講者専用》 （「■精保実習A」（10/1～2/15）関連）

2 今年度「■精保実習A」を受講している方へ

現在実習中の方で、実習開始日を過ぎても巡回指導教員と実習指導者との間で巡回指導日の調整が行われていない場合は、至急本学精保実習係宛にご連絡ください。

なお、巡回指導の日程調整は、担当教員と実習先指導者とで直接行われ、実習生が間に入ることはありません。

3 次年度（2017年度）「■精保実習A」を受講希望の方へ

次年度「■精保実習A希望届」の申込みは、11/30で締切りました。希望届を審査し、2017年2月ごろより順次実習依頼調整を行います。その際に、実習時期や実習先等について確認する可能性がありますので、本学通信教育部（022-233-2211）からの着信にご注意ください（着信があった際は、お手数ですが可能な限りご連絡くださいますよう、ご協力願います）。

なお、実習を受講するためには、「■精保演習A」スクーリング受講時に実施される「■精保実習A選考試験（面接）」の合格や、今後のスクーリング受講等の際に発生する諸条件を順次クリアしていく必要がありますので、逐一学習計画を確認するなどして順調に取り組んでいってください（『学習の手引き2012-2016』p. 134参照）。

（「■精保実習B」（7/1～12/25）関連）

4 次年度（2017年度）「■精保実習B」を受講希望の方へ

次年度「■精保実習B希望届」の申込みは、11/30で締め切りました。希望届を審査し、2017年1月ごろより実習依頼調整を順次行います。その際に、実習時期や実習先等について確認する可能性がありますので、本学通信教育部（022-233-2211）からの着信にご注意ください（着信があった際は、お手数ですが可能な限りご連絡くださいますよう、ご協力願います）。

なお、実習を受講するためには「■精保演習B-2+実習指導A-2」スクーリング（精保実習A事後指導）受講時（2017.1/21・22または2017.3/4・5）に実施される「■精保実習B選考試験（面接）」の合格や、今後のスクーリング受講等の際に発生する諸条件を順次クリアしていく必要がありますので、逐一学習計画を確認するなどして順調に取り組んでいってください（『学習の手引き2012-2016』p.134参照）。

《実習免除者専用》

5 今年度「■精保演習B（実習免除者用）」スクーリング（2/4・5開講）を受講希望の方へ

「■精保演習B（実習免除者用）」スクーリングの受講申込みは、11/30で締め切りました。

受講条件である【条件7】を達成した方には、12月初旬にスクーリング受講許可通知と『精保実習A課題ノート』を発送いたします。『精保実習A課題ノート』は、所定の部分まで完成させ、スクーリング当日に持参してください。

5 教員免許状 取得希望の方へ

教員免許状取得にあたり、学習計画の立て方などご不明点等ございましたら、お気軽にご相談ください。

教員免許状取得希望者は、『試験・スクーリング情報ブック2016』p. 37～38を必ずご確認ください。

● 高等学校教諭一種免許状(福祉)取得希望者

教育実習

「教育実習事前指導」スクーリング	2017. 3 / 25・26受講
「教育実習」	2017年7月までに受講
「教職実践演習」スクーリング	2017. 8 / 18～20(予定) 受講

※『レポート課題集2014(心理・教職編)』またはHP上の『レポート課題集F』参照。

● 特別支援学校教諭一種免許状取得希望者

1 今後の特別支援学校教諭免許状に関する科目について

● 障害者教育実習

「障害者教育実習事前指導」スクーリング	2017年夏までに受講
「障害者教育実習」	2018年2月までに受講

※『レポート課題集D(特別支援編)』p. 89～101参照。

※『レポート課題集D(特別支援編)』p. 96～99などに記載の実習校への内諾のための依頼状発行条件等は必ずご確認ください。

●実習科目以外の「特別支援学校教諭免許状に関する科目」

2018年度までの単位修得が必要です。

2 2017年3/25・26の障害者教育実習事前指導スクーリング受講希望者

受講条件の達成や申込みを2/23までに行ってください（『レポート課題集D（特別支援編）』 p. 92, 『With』 119号 p. 57参照）。

3 障害者教育実習・事前指導スクーリングの受講免除について

該当する方は、手続きを12/15必着で行ってください（『レポート課題集D（特別支援編）』 p. 92～93参照）。

4 授業料返金について

【返金対象者】 下記いずれにも該当する方

- ・2015年度以前の入学者で、本学通信教育部の卒業をせず、特別支援学校教諭免許状取得をめざしている正科生
- ・退学年度（2016年度または2017年度）の修得単位数が1単位以上10単位以下で、特別支援学校教諭免許状に関する科目、および特別支援教育支援員修了証明に関する科目のみ単位修得する方

※詳細は『試験・スクーリング情報ブック2016』 p. 38に記載がありますので、該当者は退学時にお申し出ください。

6 幼保特例講座受講の方へ

●保育士資格取得希望の方へ

【2017年度「乳児保育」スクーリング】

開講予定日： 8/11・12(祝・土) または12/9・10(土・日)

※スクーリング受講が必須の科目です。

※今年度未受講の方はご予約ください。

●4月生の方へ —レポートの提出はお早めに

今年度の科目修了試験は、第7回(申込締切日12/14, 実施日1/14・15), および第8回(申込締切日2/8, 実施日2/25・26)のみです。

※第8回の科目修了試験までに合格できなかった科目については、2017年度も継続して学習することは可能ですが、あらためて授業料(継続する科目の単位数×6,000円)が必要となります。

※2014年度入学の4月生は、2017年度も学習を継続する場合、上記授業料とは別に在籍更新手数料(3万円)が必要です。

●科目修了試験受験時の留意点について —案内は3部をご参照ください

問題用紙表紙の留意事項や、各科目の問題文をよく読んで解答してください。

下記の注意事項を担当教員からいただいています。

【幼稚園教諭免許状取得科目】

「教育社会学(特例)」

2問出題され、2問とも解答が必要であるのに対し、1問しか解答されていない方がいます。

「初等教育課程の意義と編成」

本教科での試験では、必ず特定の内容または語句について「教科書の内容を踏まえた自分の言葉での説明」とそれに対する自分の意見を書くことが求められています。

そのため自分の意見のみを書いた場合には不合格になります。また、教科書の適切な該当箇所に記載されている語彙や数字が含まれていない解答も同様です。

教科書では同じ語句が何度も出てくるため、違う箇所の内容を説明として書いている方もみられましたが、この場合も不合格になります。

スクーリング・アンケートより(3)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●NPO論 金 政信 仙台

- ・ソーシャルワークの連携の中にボランティアやNPOが重要だと思っていた。しかし、NPOについて耳にすることはあっても、詳しく理解する機会がなくスクーリングを受講しました。福祉NPOがなぜ多くの割合を占めているのかなど、DVDなど交えて具体的に知ることができよかった。自分が暮らす地域のNPOについて更に知りたいと思えるようになりました。
- ・ボランティアとNPOの違いや、日本で活動しているNPOの実態を知ることができ充実した授業でした。活動していくには大変であると話されていましたが、NPOを設立してみたいと考えていたのでとても参考になりました。

●認知症介護論 高橋誠一 仙台

- ・認知症を理解することは、人間を理解することという言葉が印象的でした。今や認知症は身近なものとなり、分かったような気でしたが、全人的に見るという考えはソーシャルワーク全てにおいて、基本となるものだ改めて考えさせられました。
- ・「パーソンセンタードケア」という理論を初めて聞き、これから認知症の人たちの尊厳や人権、生活をどのように支えていくか、改めて考えていくきっかけとなりました。目の前の仕事をただこなしていくのではなく、本人らしい生活を送れるような関わり方をしていきたいと思いました。

●医療・福祉経済論 佐藤英仁 仙台

- ・配付された資料は日本国民の実態調査と分析であり、興味深いものであった。手に入れるには難しい資料だと思いました。また、資料内容と経済のつながりについてスクーリングを受けてとてもよく理解でき、教科書では知り得ない知識やあまり理解のなかった経済用語もよく分かり、今後のニュースにも関心を持ってみるきっかけになりました。

●特講・福祉心理学5(自分さがしの心理学) 菊住 彰 仙台

- ・自分自身が持っている自己像と他人が抱いているイメージは、必ずしも一致しないということ…これは、いつも自分自身を全部みせているわけではないので当たり前だと思うが、今まで考えもしなかった。
- ・改めて自分の考え方、行動のクセについて正面から向き合うことができました。適切な他者理解には、まず適切な自己理解がなされるべきであることが実感できました。講義だけでなくワークがあったことで学びが深まったと思います。

スクーリング・アンケートより(4)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●社会福祉援助技術演習B・II

- ・面接技法など具体的にやることができ、今後役立てるようにしていきたい。また、参考図書などの紹介が具体的で自己学習に役立った。
- ・生活を支える上でどうしても本人にばかり目を向けていたが、社会資源や生活環境のもつ影響力についても改めて理解を深めることができた。
- ・今まで自分があまりにも言葉の意味を考えずに使用していたことが分かった。言葉の意味を知っていることの重要性を考えさせられた。
- ・常に質問しやすい状態だったので、質問しながら確認し理解がしやすかった。社会福祉士としての心構えや考え方など、事例を示して説明いただいたので、分かりやすいと感じた。
- ・授業が展開される中で、振り返りをしてくださったのでありがたかった。他職種の方が受講しているだけでもモチベーションが上がったような気がします。面接技術はとても多くのことを学べました。

●精神保健福祉援助演習A

- ・気づきの多い講義であった。コミュニケーションを通して現状の自分の実力について把握することができた。
- ・先生の熱意と誠意、信念が伝わるとても良い授業でした。具体的な事例を出して説明していただいたので、より理解が深まりました。グループワークはとても楽しく参加でき、仲間の絆が深まりました。
- ・グループワークで自分の癖や特徴を知ることができた。気をつけたいところも見えてきたことが良かった。

●精神保健福祉援助演習B - 1 + 実習指導A - 1

- ・実習に向けて取り組まなければならないことを、再確認することができてよかった。KJ法を用いて、分かりやすく簡潔にまとめることができ、理解が深まった。
- ・実習前の学習ということで、内容が盛りだくさんでした。一つ一つがとても勉強になり、計画書の記載方法も指導いただき、実習をする上での視点のはっきりしました。
- ・事業所を見学した際、気をつけて行動しなければならない点など、その場で指導を受けたことで理解が深まった。
- ・受講生全員が様々な思いを抱えて受講していることが分かったよかった。施設を見学し実際に指導者の話を聞くことができ、とても参考になった。